

1878 - 1913

- 産業革命に端を発する日本の近代化

明治維新後の激動の中、安定性のある西洋型船を日本で建造することを目指し、近代造船業に進出しました。次いで、鉄道の将来性に着目し、鉄道車両の製造を開始。日本の近代化を促進しました。

1914 - 1945

- 2度の世界大戦
- 関東大震災(日本)

新分野への進出を意欲的に進め、海運業、航空機・鉄鋼構造物などの製造へと事業を拡大しました。日本の近代化が進展する中、船舶需要の拡大に応えるとともに、社会インフラ整備に貢献しました。

1946 - 1980

- 冷戦、モータリゼーション、オイルショック
- 高度経済成長(日本)

事業の多角化を推進し、総合重工業として発展。日本初の製品を多く生み出し、日本の高度経済成長を支えました。また、産業プラントの輸出を進め、モーターサイクルではいち早く海外生産を開始。事業のフィールドを世界に広げました。

1981 - 2000

- IT技術の進展、新興国の成長
- バブル経済の発生と崩壊(日本)

高品質・高性能・環境にやさしい製品を希求する社会の要請に応え、多彩な製品を世に送り出しました。生産拠点を世界に拡大し、Kawasakiブランドを広げるとともに、世界各地のインフラ整備に貢献しました。

2001 -

- 持続可能な発展
- IoT技術の進展

持続可能な発展がグローバルなテーマとなる中、最先端の技術でエネルギー利用の効率化を推進し、新興国のインフラ整備と発展を促進しました。また、豊かな生活と地球環境の未来を見据え、技術開発を推進しました。

日本の造船業の近代化



1897 「貨客船伊豫丸」
(川崎造船所第一番船)進水

国内鉄道網の整備、便数の増加に貢献



1911 国産化第一号蒸気機関車完成

船舶需要の増加に対応



1916 ストックポートの量産

航空輸送に貢献



1922 当社初の航空機完成

関東大震災後のインフラ復興に貢献



1926 永代橋ほか製作

移動の高速化



1964 0系新幹線納入

生産の自動化、効率化



1969 国産初の産業用ロボット
「川崎ユニメート2000」誕生

Kawasakiブランドの確立



1972 「Z1」発売

小規模発電に貢献



1976 国産初のガスタービン発電設備
「PU200」開発

災害対応・救急などの迅速化



1979 「BK117」初飛行

エネルギー輸送に貢献



1981 日本初のLNG運搬船引渡し

Ninjaブランドの誕生



1984 「GPz900R」発売

建設機械の効率化に貢献



1987 斜板型アキシアルピストンポンプ
「K3Vシリーズ」量産開始

移動の利便性向上



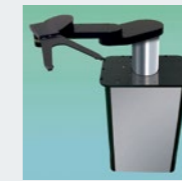
1991 英仏海峡海底鉄道トンネル掘削成功

都市ごみ処理に貢献



1997 名古屋市新南陽工場向け
都市ごみ焼却施設完工

生産の自動化、効率化



2003 水平多関節クリーンロボット
「NXシリーズ」発売

移動の高速化



2004 台湾高速鉄道向け車両初出荷

エネルギー利用の効率化



2007 カワサキグリーンガスエンジン
世界最高発電効率を達成



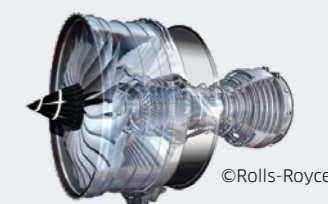
2012 純国産高効率ガスタービン「L30A」
販売開始

経済性、快適性、環境性を 先端技術で実現



2004 ボーイング787ドリームライナーの
開発・生産に参画
画像提供：ボーイング社

燃費を向上、騒音・CO₂及び NOx排出を大幅に低減



2009 ロールス・ロイス社の旅客機用エンジン
「Trent XWB」の開発・生産に参画
©Rolls-Royce plc

肥料需要に応え、天然ガス 資源の付加価値向上に寄与



2014 トルクメニスタン最大のアンモニア・
尿素肥料製造プラント完工

燃料電池車の航続距離の 伸長に寄与



2018 ダイムラー社
向け「高圧水素
減圧弁」開発